

北海道教育委員会（所在地：北海道）

事業名

障害者の生涯学習推進コンソーシアム形成事業

事業の趣旨・目的

- ・学校卒業後における障害者の学びの場の整備・拡充や情報共有の仕組み等について検討する場の設置
- ・効果的な学習を支援するための具体的な学習プログラム・実施体制等に関する実証研究の実施

事業実施体制・連携先

- ・医療法人、社会福祉法人、大学、特別支援学校
 - ・地域民間団体、当事者団体
 - ・道立生涯学習推進センター、社会教育施設（ネイパルなど）
 - ・市町村（教育委員会含む） など
- ※コーディネーターは北海道教育庁社会教育課社会教育主事

事業内容

- ・年3回の地域連携コンソーシアム会議の開催
- ・医療法人稲生会「みらいつくり大学校」や道立青少年体験活動支援施設ネイパルによる実証研究事業の実施
- ・学校卒業後の学びの継続性を確保するための協議
- ・大学へのヒアリング調査と、大学等と連携した学びの機会の拡充
- ・市町村教育委員会や保健福祉部局の担当者等を対象にした、人材養成研修の実施（道内178市町村）
- ・社会教育主事講習や学校図書館担当職員を対象とした研修会における、障害者の生涯学習支援に関する講座の設定
- ・モデル市町村（北広島市）における市町村版地域コンソーシアムの構築
- ・道立生涯学習推進センターによる、市町村教育委員会や社会教育施設など、障害者の生涯学習に係る、支援体制についての調査研究
- ・コンファレンスの開催（ハイブリッド方式、204名参加）

今年度の取組状況

<成果>

- ・地域連携コンソーシアム会議の協議を通して、道内における学びの場の整備・拡充に向けて、現状や課題などの共有
- ・障害者の学びのニーズを踏まえた学習プログラムの開発・発信
- ・モデル市町村による実証研究事業や、大学および道立生涯学習推進センターの調査研究を通して、今後の支援体制構築に向けた方策の検討
- ・北海道ブロックコンファレンスの開催による、障害者理解の促進と広域的なネットワークの構築

<課題>

- ・当事者ニーズの把握と検証、関係団体や機関との連携による取組の拡充
- ・学びの場を生み出す中核人材のさらなる養成
- ・道内各地で行われている学びの場についての情報収集と効果的な発信

その他研究の詳細など



アイヌ文化を学ぶバスツアー



全道各地で行った研究協議会



メタバースを活用した
コンファレンス

北海道教育庁社会教育課

地域連携コンソーシアム
(道教委社会教育課HP)



医療法人稲生会による情報提供
(みらいつくり研究所HP)